

# ときめき人

Tokimeki bito

## いつまでも子どもたちを見守り続けたい



子どもの居場所ピックネット。  
写真左から、太田智美さん、千葉  
泰子さん、三浦晴夫さん(代表)、  
戸田和夫さん、千葉仁さん

主体は子ども、何をして過ごすのか自分で考えてます。

子どもの居場所ピックネットは2018年、地域の宝である子どもの育成をサポートしようと、迫町の大網東、西、南行政区の志を同じくするメンバーが集まり発足。地元事業者の支援を得ながら、毎週月、水、金曜の午後3時30分から5時30分までコンテナおおあみ1階で、メンバーが見守り、子どもが安心して過ごせる場を提供している。

「子育てという意識ではなく、子どもたち自身がお互いの関係の中で育っていき、そこに大人が寄り添っている。そういう場を提供したい」と話すのは代表の三浦さん。「私が子どもだった頃と比べ、今は地域みんなで子どもを育てるという文化は薄れています。家庭環境も多様化。スマホやインターネットなど情報化の中で、自分の意見を言えるコ

ミュニケーション力を高め、感性豊かになってほしい」と願いを込めた子どもの居場所ピックネットは、いつ来ても何時に帰っても子どもの自由。それぞれが思い思いの過ごし方をしている中で、おのずと上級生が下級生の面倒を見て、帰る時の片付けやあいさつを教えている。個人主義が当たり前という時代の中、かつての地域の姿がここにはある。メンバーの戸田さんは「子どもたちが来てくれてこそその活動。友達と一緒に過ごすことでより心を豊かにし、明日に向かう強い気持ちを抱いてほしい」と子どもたちを優しく見つめる。

理想は、子どもたちが緊急時に相談できる大人でいること。ピックネットは地域の子どもたちに今日も寄り添っている。

## 編集後記

▼ズームアップの藤野さんを取材。俳句を作り続けて約20年、ついに全国の頂点に。何を見ても句の題材になり、言葉があふれてくるという話を聞き、藤野さんの才能は広報担当としてのうらやましい限りでした。また、作りっぱなしにせず、推敲を重ねることの大切さも学びました。(小野寺)

▼百歳を迎えた長寿のお祝い会を取材。立ち上がった賞状を受け取ったり、自分でお菓子を食べたりするなど、自宅で元気に過ごす姿が印象的でした。そんな健康な姿を目指しながら、2021年は、例年以上に家族の健康を祈りたいと思います。(三浦)

▼地域の子どもたちの成長を願い、優しく寄り添う活動をしている「ピックネット」の皆さんにお会いしました。子どもは地域の宝。その宝を見守る取り組みに、冬の寒さの中、とても心温まる思いがしました。新年も、温かな話題を皆さんにお届けできるよう頑張っていきたいと思います。(佐々木)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

